

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取組年度	令和3年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。	
K P I 項目		目標値
サポステの支援により就労等につながった割合		35%
サポステレベルが上がった方のレベル数		300レベル

【令和3年度取組状況】

サポステでの通常の職業的自立支援のほか、本年度も引き続き、巡回相談のほか、自主性を高めることを目的としたグループワークの実施を行い、就職氷河期世代の方それぞれの事情にあわせた支援を行っております。

また、当法人では週1回、スタッフの相談スキル向上のために勉強会を開いており、そこで就職氷河期世代についての勉強会を実施し、支援の質向上をはかっております。その勉強会では、氷河期世代と一言で言っても、引きこもり、8050問題、就職難、非正規労働等、それぞれ問題が違うということを改めて学び、氷河期世代の支援は、それぞれの状況にあわせた柔軟な支援が必要だと痛感したところでした。

2022年2月には、サポステで支援をしている就職氷河期世代の当事者の方向けの座談会を実施し、当事者、保護者、そして支援関係社の方々にサポステは氷河期世代の方をどのように支援しているのか周知を図る予定です。

更に、当日キャンセルしても問題ないという職場体験先の拡充を連携して取り組んでいます。福祉的な意味での拡充を進めていくため、生活困窮者自立支援事業を実施している各社協と共同で進めています。現在の成果として、①サポステの支援により就労等につながった割合、は非常に高く②サポステレベルが上がった方のレベル数、が非常に低いことが特徴です。これは、就職氷河期でサポステに繋がるケースの多くは意識が高いケースが多く就職していくものの、想定よりも相談には繋がっていないことを表していると判断しています。そのため、就職数だけ見ると当法人の想定よりも就職氷河期の数も上がっておりますが、新規については低い状況です。以上のことから、より困難な状況にある方々のための周知の必要性を感じています。

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステの支援により就労等につながった割合	25.8%	73.6%
サポステレベルが上がった方のレベル数	47レベル	15.7%

令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
31.0%	20.5%	
25レベル	22レベル	

※令和3年度実績については、12月末現在（長崎）と11月末現在（佐世保）の合計。